

機関番号	整理番号
00000	000000

令和4(2022)年度 研究成果公開促進費(学術図書)計画調査

令和XX年XX月XX日版

審査区分・ 区分内番号	審査区分		区分内番号	
			(番号) 000	
			(番号) 000	
			(番号) 000	
応募者 氏名	(フリガナ)			
	(漢字等)			
所属機関				
部局				
職				
刊行物 の名称				

学術図書

著者・著作権者の主たる者

著者・著作権者の合計人数		人		
著作権者	氏名	所属機関	部局	職名

国立情報学研究所

出典先不明

編者の主たる者

編者の合計人数	人		
氏名	所属機関	部局	職名

国立情報学研究所

データベースセンター

刊行経費等について

「紙媒体を含む」か 「電子媒体のみ」かの別 和・欧・その他の別			
判型	判		
ページ数	ページ		
発行部数	市販用 部	その他 部	合計【C】 部
刊行経費等 「紙媒体を含む」	直接出版費 (税込)【A】	定価(税込)【B】	
	円	円	
	一部あたりの原価 (【A】/【C】)	応募上限額 (【A】 - {【B】 × 0.7 × 0.5 × (【C】 × 0.6)})	
円	円		
刊行経費等 「電子媒体のみ」	直接出版費 (税込)【A】	販売価格(税込)	応募上限額 (【A】 × 0.7)
	円	円	円
出版社等への原稿渡し日			
発行予定年月日			
出版社等名			

翻訳・校閲経費等について

翻訳・校閲対象図書・論文			
ページ数	ページ		
翻訳・校閲対象図書・論文 の著者・著作権者 の合計人数	著者・著作権者 の合計人数	著者・著作権者 代表者氏名	
人			
翻訳・校閲対象図書・論文 の編者の合計人数	編者の 合計人数	編者 代表者氏名	
人			
和文・00文字・1000文字・10000文字・100000文字 の原稿予定枚数	枚		
翻訳時の原稿予定枚数	枚		
校閲原稿予定枚数	枚		
翻訳・校閲経費	翻訳経費	円	校閲経費 円
	翻訳・校閲経費合計	円	翻訳・校閲経費の補助要求額 円
		円	円
翻訳・校閲期間	~		
刊行経費の応募年度			

翻訳者・校閲者について

氏名	翻訳者・校閲者の別	職歴・研究歴	1. 主要著書・論文 2. 主要業績
			1. 2.
			1. 2.
			1. 2.
			1. 2.
			1. 2.

本年度の学術図書における 複数応募の理由	
-------------------------	--

学術図書刊行委員会

### 1 著者（编者）の主要著書・論文・研究歴等

著者（编者）の次の点について過去から年次順に記述すること。

- ① 主要著書の題名、出版社等名、及び発行年
- ② 主要論文名、掲載された雑誌名、及び発表年
- ③ 主要職歴及びこれまでの主な研究内容

なお、著者（编者）が多人数のため、書ききれない場合は、代表して何名かの著者（编者）について、収まる範囲で記述すること。

※1頁以内で記述すること。

学術図書1

## 2 刊行の目的及び意義

当該刊行物を刊行するに当たって、次の点について、焦点を絞り、具体的かつ明確に記述すること。

- ① 当該刊行物と類似・関連する国内外の研究成果等を適宜引用し、それらとの違いを明確にした上で「刊行の目的」「意義」「学術的価値」及び「国内外における当該刊行物の位置づけ」について具体的に記述すること。
- ② 当該年度（又は翌年度）に刊行する意義及び学術的価値について記述すること。  
※当該年度：令和4（2022）年度、当該年度翌年度（令和5（2023）年度）
- ③ 本科研費が必要な理由及び科研費の交付を受けられない場合の状況等について記述すること。

※2頁以内で記述すること。

学術図書2

【2 刊行の目的及び意義（つづき）】

学術図書3  
51-4  
計画調書



### 3 刊行物の内容（概要）

当該刊行物の内容について次の点について記述すること。

- ① 当該刊行物の目次の項目及び各項目の頁数について列記すること。
- ② 当該刊行物の概要について、目次に記載した編・部・章等の単位でまとめ、それぞれ記述すること。必要に応じて完成した原稿の内容（図表等含む）を用いること。
- ③ 当該刊行物が過去に公開済みの論文等の内容を含む場合には、当該刊行物において新たに加わった知見等について具体的に記述すること。また、以下の情報を記述すること。
  - ・基になる論文等の情報（著書の場合は書誌情報、並びに、論文の場合は論文名、掲載誌名、巻号や頁等、発表年月、及び登録されている機関リポジトリ等の名称及びURL）なお、該当しない場合には「該当しない」と記述すること。
  - ・博士論文を基としている場合には、以下の内容を記述すること。なお、該当しない場合には「該当しない」と記述すること。
    - (1) 博士論文についての情報（題目、提出大学、提出年月）
    - (2) 機関リポジトリへの公開状況（全面公開、要旨のみ公開、未公開）及び公開先URL

なお、本欄は、審査を行う上で重要な欄であるため、内容が的確に把握できるよう、十分検討の上で記述すること。

**※4頁以内で記述すること。なお、空白の頁が生じても削除しないこと。**

学術図書4

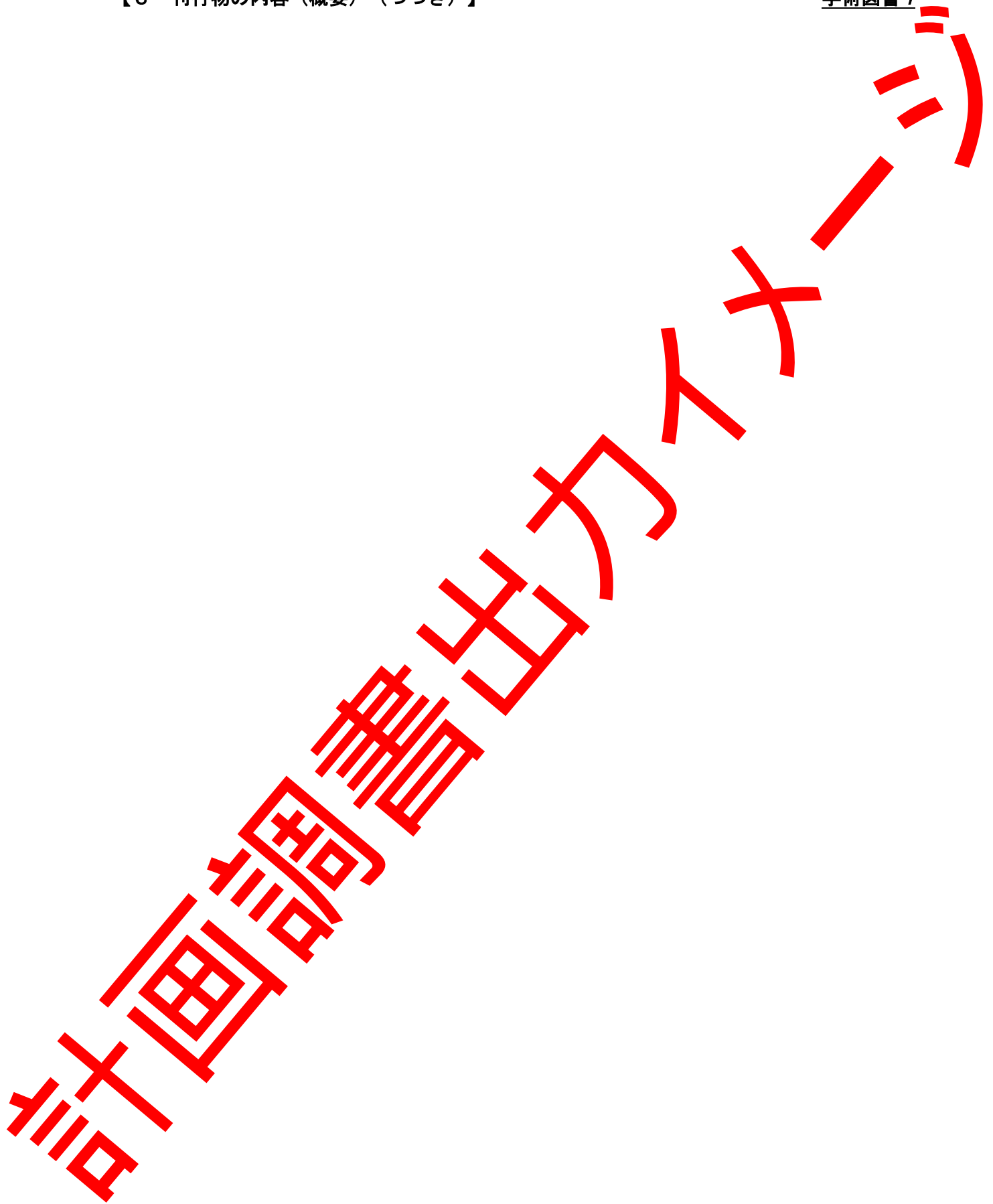
【3 刊行物の内容 (概要) (つづき)】

学術図書 5

【3 刊行物の内容 (概要) (つづき)】

学術図書 6

【3 刊行物の内容（概要）（つづき）】



#### 4 本刊行物が学術の国際交流に対して果たす役割

当該刊行物の刊行が、学術の国際交流に対して果たす役割（例えば日本独自の文化、歴史等についてとりまとめた研究成果を外国語で刊行することにより、海外における当該研究領域にもたらす効果、国際的に行われている学術研究領域において当該刊行物が果たす役割等）について記述すること。

特に、翻訳・校閲の上、刊行する場合は、本刊行物を広く海外に提供することの目的及び意義について、必ず記述すること。

なお、学術の国際交流を目的としていない場合は、「該当しない」と記述すること。

**※ 1頁以内で記述すること。**

学術図書 学術図書 学術図書